

# 泉南市民の皆様へ

樽井文化センター 電話(072-484-2295) (2024年9月)

この国の学力(現代が要請する主要な教育目標は「知的創造的能力」), それに基づく科学技術力・国際比較での労働の生産性が, 休みなく全面的にしかも著しく後退していることは, もはや誰の目にも明らかになっています。

一方で, アベノミクスを始めとしたこの国の金融・財政政策や政府が打ち出す科学技術政策・文教政策は, 何一つ現実的な解決策となっていないだけでなく, この国を泥沼の深淵に陥れています。

PISA(OECDの学習到達度調査)やTIMSS(国際数学・理科教育動向調査), (数学だけではない)科学オリンピックなどのランキングは, 科学技術力や労働の生産性などとの相関が殆どなく, 現実が強く要請する学力「知的創造的能力」とは無関係です。東大や国・公立大医学部の合格者数, 文科省や業者による学力テストによるランキング・受験偏差値, 各種学力テストなどで出される評価などは, 全く現代が強く要請する学力や学力形成能力の検定にはなっておらず, そうしたもの(「即興力」)に向けての学習が, 間違いなくこの国の学力後退を誘導してきました。

国民と政府が選択し得る現実的で有効な唯一の政策は, この国の主要な教育目標を全面的に「知的創造的能力の育成」に転換することです。ノーベル生理学・医学賞受賞の本庶佑氏は, 「アカデミアがシーズを生めば, 長期的に, しかも桁違いの経済効果を生むことは歴史が証明している。基礎科学の発展こそ, 大学における研究の使命である。」  
と語っています。

当塾の主張の理論的背景については、『春夏秋冬 427号』(2023年11月号)を是非ご参照下さい。

2022年度からの小学5・6年生への教科担任制の導入, スーパーサイエンスハイスクールの導入, 大学への早期入学～高校生が大学の単位を履修する「科目等履修生」, 千葉大学など10大学の「飛び入学制度」, また「私立中高六年一貫校」そっくりの「公立中高六年一貫校」など, 個別の変更は徐々に始まっています。泉南市では, 児童生徒の減少に伴って, 「小中を統合・併設する4つの小中一貫校に再編する」ことが決定されていますが, このままではますます一貫した「知的創造的能力」育成の教育は困難になります。むしろ複数の公立中高六年一貫校に再編して, 無条件で多様な個性を持つ全ての生徒を受け入れ, それぞれの能力・意欲に応える大学学士課程までの教育を完全無償で保障すべきです。高校入試対策や大学入試対策など反知性的な「即興力」テスト対策(端的に言えば, 考えない無能者育成)を完全に排除すべきです。現実的な「知的創造的能力」の育成や個性に十分対応した教育の見地からは, 小中一貫教育より「公立中高六年一貫教育」の方が合理的です。「消滅可能性自治体」の泉南市と市民にとって, 残された時間は殆どありません。

当塾の提案は, 現在が強く要請する主要な教育目標「知的創造的能力」だけでなく, 全ての生徒が自らが判断した能力・意欲に十分応えてくれる制度を確立し, 泉南市で, 安心して子育てや教育ができるよう工夫したものです。

これからのかなり多くの若者に求められる能力は, 間違いなく,  
限られた時間に, マニュアルに沿って課題に対応する「即興力」ではなく,  
AIなどだけでは対応困難な知的創造的能力です。

当塾の教育目標は, この現代に相応しい知的創造的個性を育成することです。

当塾の教育方針や教育内容は、『春夏秋冬』や当塾のHPにアップしている各種教材例をご参照下さい。また, 当塾は, 大阪府及び泉南市の教育政策・教育改革案に疑問を提示しています。当塾は, これらの賛否いずれの方とも意見の交換を望んでいます。是非お会いして, 話し合いたいと思っています。お電話を待っています。

追記

- (1) 最新の『春夏秋冬』(396号～438号)を, 是非当塾のHP(taruibunka.la.coocan.jp)でお読み下さい。また泉南市民で『春夏秋冬』のバックナンバーのプリントを要望される方, あるいはご意見のある方は, 直接お電話下さい。
- (2) 当塾は教師高齢化のため, 明確にその期日は決めていませんが, 間もなくそのすべての活動を終了いたします。
- (3) 8月をもって, 一般の塾生の募集を終了しましたが, 特別のご希望があれば, ご相談に応じます。処分を待つ学習に有益な成人向け・高校生向けの書籍が多数残っています。全て無償で差し上げます。